

記入例2 申立人が15歳未満の場合

申立書を提出する裁判所 (子の住所地の家庭裁判所)

作成年月日

収入印紙 円		予納郵便切手 円	
準口頭	関連事件番号	平成・令和	年(家)第 号
<input type="radio"/> 家庭裁判所	申立人	乙野太郎次郎の法定代理人	
<input type="radio"/> 御中	(★15歳未満の場合は法定代理人の記名押印)	甲野花子 (印)	
令和 年 月 日	印		

添付書類 (同じ書類は1通で足り。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)

申立人(子)の戸籍謄本(全部事項証明書) 父・母の戸籍謄本(全部事項証明書)

(親権行使者が指定されている場合) そのことを証する書面

本籍	都道府県	市	町	番地
住所	〒	電話	()	()
フリガナ	乙野太郎			
氏名	昭和	年	月	日生
	平成	()	()	() 歳
本籍	※ 上記申立人と同じ			
住所	〒	電話	()	()
フリガナ	乙野次郎			
氏名	昭和	年	月	日生
	平成	()	()	() 歳

☆★法定代理人

親権者父(親権行使者) 親権者母(親権行使者) 後見人 ✓を記入してください。

本籍	都道府県	市	区	町	丁目	番
住所	〒	電話	()	()	()	()
フリガナ	甲野花子					
氏名	上記申立人の住所に同じ					
本籍	都道府県					
住所	〒	電話	()	()	()	()
フリガナ						
氏名						

子の現在の本籍地 (「丁目」や「番」等も略さずにお書きください。)

子の氏名

変更を求める子が数人いるときはこの欄を利用してください。

子の現住所 (裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。)

平日の日中に連絡のつく番号を記入してください(携帯電話でも構いません。)

親権者等は、この欄にお書きください。(本籍地は、「丁目」や「番」等も略さずにお書きください。)

子が移動したい先の戸籍

子の現在の名字

移動先の戸籍の名字 (子の現在の名字と同じであっても記入してください。)

申立書の趣旨	
※	申立人の氏 (乙野) を ① 母 2 父 の氏 (甲野) に変更することの許可を求める。 3 父母

(注) ※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、()内に具体的に記入してください。

申立ての理由	
父・母と氏を異にする理由	
※	① 父母の離婚 5 父の認知 2 父・母の婚姻 6 父(母)死亡後、母(父)の復氏 3 父・母の養子縁組 7 その他 () 4 父・母の養子離縁
(その年月日 平成・令和 年 月 日)	
申立ての動機	
※	① 母との同居生活上の支障 5 結婚 2 父との同居生活上の支障 6 その他 [] 3 入園・入学 4 就職

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、父・母と氏を異にする理由の7、申立ての動機の6を選んだ場合には、()内に具体的に記入してください。

母と子が同居生活をしているが、戸籍が別々なので支障がある場合

1~5に該当しないときはここに簡単に記入してください。

数人の子について申立ての動機がそれぞれ異なる場合には、その旨を明らかにしてください。

1~6に該当しないときはここに簡単に記入してください。

離婚等の年月日

子の氏 (1/2)

子の氏 (2/2)